萩城

永禅寺山古墳群のある永禅寺山丘陵

所在地：石川県珠洲市上戸町寺社
立　地：丘陵先端、標高41m
城　主：越後上杉氏
時　期：戦国
見学時間（参考）：４０分～１時間

蟹寺伝説で有名な永禅寺の西後背丘陵である永禅寺山の南端部に占地し、内浦街道が眼下を通る交通の要衝である。通称ちんちん堂（白山神社）が鎮座する主郭など６基の円墳で構成される「永禅寺山古墳群」を再利用して築かれている。

眼下に内浦街道と飯田湾

南麓の登城口

「上戸の遺跡と伝説地」（上戸知ろう会）には「永禅寺のちんちん堂山には黒峰城の出城があった」と記しているが、城主名は伝えていない。
城跡には南麓から道が続いており、主郭に鎮座するちんちん堂への参詣道となっている。

ちんちん堂のある主郭

２つの曲輪（古墳と認知されている）との間にある堀切を渡る土橋が設けられ、大手道をそのまま利用していると考えられる。主郭は南北の尾根続きを堀切で遮断し、周囲を切岸と急峻な斜面に囲まれている。比較的緩やかな西斜面には主郭の直下に横堀を伴う畝状空堀群があり、同市の飯田城、黒峰城とともに奥能登に進攻した上杉謙信軍が改修して使用したと推定される城跡である。

主郭直下の畝状空堀群

堀切を渡る土橋

尾根続きを遮断する堀切

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合せ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335　石川県河北郡津幡町井上の荘３－９
TEL. 076-204-6046　　FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ　**https://www.j-sampo.com/**